



■ 6月30日(土) 渥美支所前で運行開始式が行われました

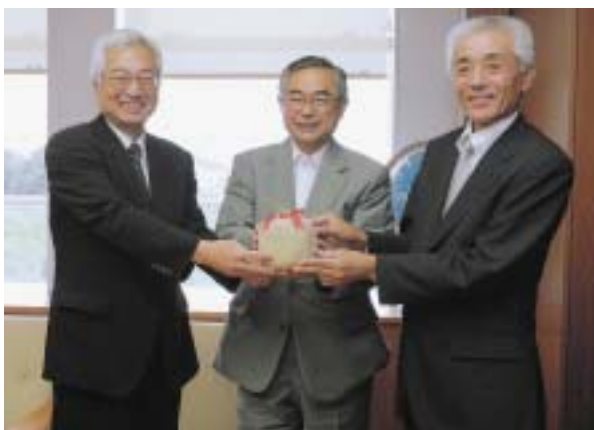
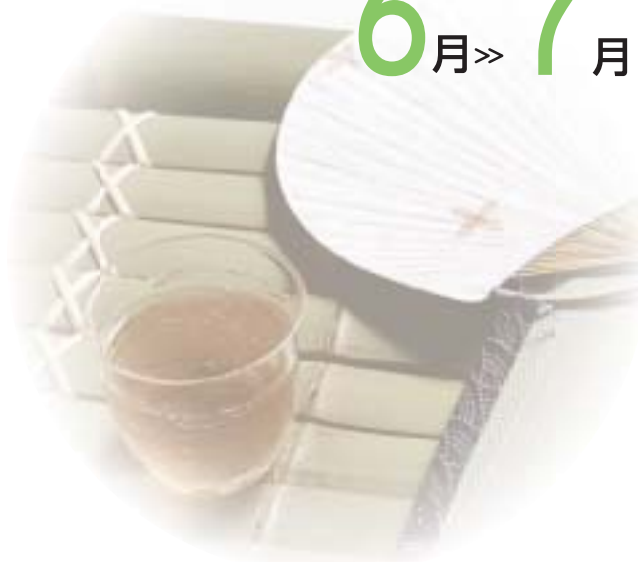
7月1回~ ぐるり~ん 市内9路線目

渥美支所を発着点に中山町・小中山町を巡回する「ぐるりんバス(中山線)」の本格運行を開始しました。長年、公共交通機関の空白地となっており、何かと不便を強いられてきた中山・小中山地区の皆さんにとっては、まさに待望のぐるりんバス。市内で9路線目となる中山線が、そんな皆さんの期待を背負って発車しました。料金は1回の利用につき100円(小学生以下は無料)。“地域の新たな足”を、ぜひご利用ください。

Tahara City News

■ たはらシティニュース / Tahara City News

6月>> 7月



■ 左から、鈴木校長(渥美農高)、市長、伊藤組合長(JA愛知みなみ)

7月11回 田原市の新しい特産品に

渥美農業高等学校が開発したカクメロが、7月5日に初出荷され、渥美農業高等学校長、愛知みなみ農業協同組合長らがその報告に市長を訪れました。今年1月に特許を取得し、商標登録された「カクメロ」。現在、田原市と豊橋市の11軒の農家で栽培され、この夏約100個が首都圏を中心に出荷されました。今後は、生産者を増やし、田原市の新しい特産品として年間1000玉の安定的な生産を目指していくそうです。



■ 流れの静かな場所を選んで放流する伊藤さん(奥)と市職員

7月5回 1年後に会いましょう

藤七原地区を流れる清谷川で、ゲンジボタル飼育指導員の伊藤三也さん(田原町)が、ホタルの幼虫5万匹を放流しました。伊藤さんは、水質悪化により激減してしまったゲンジボタルを復活させるため、平成元年から幼虫の放流に取り組み、市民に河川浄化を呼びかけています。それが実を結び、現在、藤七原地区は再び「ホタルの名所」と呼ばれるまでになりました。今回放した幼虫たちも、来年、鮮やかに乱舞してくれることでしょう。